

都議会 民主党

Report 2016 レポート

春号

発行：都議会民主党政策調査会
〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1
TEL 03-5320-7230 FAX 03-5388-1784
http://www.togikai-minsyuto.jp/

いしげ

東京都議会議員

石毛しげる

都議会平成28年 第1回定例会本会議

一般質問 都議会民主党 石毛しげる

速報版

平成28年2月24日

質疑 応答

Q1 東京ブランディング戦略について！

●アフリカ、アジアの水道事業の社会貢献！

まず、アフリカです。

21世紀は、アフリカの時代といわれています。昨年、国連の人口予測では、アフリカ人口は世界人口の16.1%、6人に1人の割合です。2100年には、5人に2人がアフリカ人。このころには日本の人口8千3百万人に対して、ナイジェリア7億5千万人を筆頭に、アフリカで人口2億を超える国は7カ国に達します。

私は、2011年2月の一般質問において、アフリカのコンゴのような必要とされる地に、水道技術の育成のため積極的支援をお願いしたところ。現在、東京都水道局は、アフリカから毎年40人前後の研修生を受け入れています。

次に、アジアですが、昨年5月、都議会民主党で台湾の台北市を訪れた際に、柯文哲市長から、東京都水道局の協力で漏水率が26.9%から16.7%に改善されたことに大変感謝されていました。

このように、インフラ整備の貢献は現地の人々の生活を豊かにし、良好な関係を築くことにつながります。

さて、東京都水道局は国際水協会の賞を連続受賞しています。2018年9月には、日本で初のIWA、国際水協会世界会議が東京ビッグサイトで開催されます。

私は、これから人口がふえるアフリカ大地や過疎地などの途上国に、安心・安全の東京水道局の技術によって普及することを切望します。途上国における水道事業の国際貢献について、知事の見解を伺います。

A1 舛添東京都知事答弁

世界では、いまだ6億人を超える人々が安全な水を手にできておらず、多くの子供たちが命を落としているのが現状です。人々の健康で文化的な生活には、安全な水が不可欠です。

東京は、長い歴史をかけて世界一の水道システムを築き上げており、水質管理、漏水防止などのすぐれた技術や



都議会壇上の石毛しげる

ノウハウに対して、途上国から高いニーズがあります。

今後とも、こうしたニーズを踏まえ、途上国などからの研修生の受け入れ講師の派遣、人材育成から技術協力などに至るまで、幅広く支援をしていきます。

Tokyo Tech Bookという我々が作った、東京都が持っている技術、英語と日本語で書いてあります、これを必ず外国から来られる方にお渡しして、我々が支援できるものは支援していくと、こういうことを行っています。これがグローバル都市東京の使命でもあり、日本の友好国をふやすことにつながっていると思っています。

2020年東京大会の2年前の2018年に、IWA、世界の水の会議が東京で開かれます。途上国の水道事情の改善にぜひ積極的に貢献するとともに、東京から、さまざまな東京の魅力、特に水について発信をしていきたいと思っています。



舛添東京都知事の答弁

Q2 安らかな最期に向けた支援を行う「みとり」について

●在宅での「みとり」の体制整備を！

平成27年、都議会第1回定例会の代表質問で、地域包括ケアの最後に待ち受けるみとり、介護と医療の連携による在宅療養体制の整備について質問し、都からは、住みなれた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けたいという高齢者のニーズに応えるため、体制整備を推進するとの答弁をいただきました。

超高齢時代、旅立ちのときを安心して住みなれた地域で迎えるためにも、みとりまでを含めて医療と介護が連携し、在宅での体制を整備していくべきと考えます。知事の見解を伺います。

また、穏やかな旅立ちを迎えるために、地域での在宅療養体制の整備とあわせて、都民一人ひとりが自分らしく生きていくことや、旅立つことについてあらかじめ考えておくことが重要です。今や、エンディングノートや終活といった言葉に象徴されるように、みとりという言葉は、決して後ろ向きな言葉ではありません。都民に対して、みとりに関する理解を促進すべきと考えますが、都の見解を伺います。

ついでに住みかとして特別養護老人ホームなどを選んだ方も、現状では、多くのホームで救急搬送、病院での死亡宣告となることが多く、本人、家族が穏やかな最期を望んでも、かなわないのが現状です。施設における最期も、家族や家族にかかわる人にみとられ、その人らしく旅立つことができるようにしていくべきと考えますが、都の見解を伺います。

A2 その1 舛添東京都知事答弁

多くの高齢者は、医療や介護が必要になっても、自宅で家族や友人などに囲まれて、最期のときを自分らしく迎えたいと思っておられると思います。

そのためには医療と介護が連携しないといけないし、最期まで在宅でみとりができる体制の整備が必要だと考えています。

都は、地域における医療と介護の連携の仕組みづくりとか、それを担う人材の育成、それから24時間訪問診療を行える体制づくりなどに取り組んできました。

来年度は新たに、住宅や施設など住みなれた暮らしの場でのみとりを支援するために、看護師、介護福祉士などへの研修、それから環境整備のための支援を実施します。

今後、こうした取り組みを一層進め、高齢者が住みなれた地域で安心して療養生活を送って人生の最期を迎えることができる、そういう環境の整備を整えてまいりたいというふうに思っています。

A2 その2 梶原福祉保健局長答弁

みとりに関する都民への普及啓発についてですが、誰もが住みなれた地域でその人らしく暮らし、本人や家族の希望に沿った最期を迎えられるようにするためには、地域における在宅療養体制を整備するとともに、都民一人ひとりが、みずからや家族のみとりについて、日ごろから考えておくことが重要です。

そのため、都は、自分自身が人生の最終段階をどこでどのように過ごしたいかを考え、家族など周囲の人と話し合うとともに、家族の希望についてもあらかじめ理解しておくことの重要性などをまとめたリーフレットを

裏面につづく

表面より

来年度作成します。

作成に当たっては、有識者などから幅広く意見を聞くこととしており、講演会やホームページなどを通じて都民に周知を図っていく予定です。

最後に、介護施設等におけるみどりについてですが、特別養護老人ホーム等の介護施設も暮らしの場の一つで、みどりへの対応も含め、本人や家族の希望に応じて、顔なじみの職員や他の入居者とともに最期まで暮らし続けられる環境を整備することが求められています。

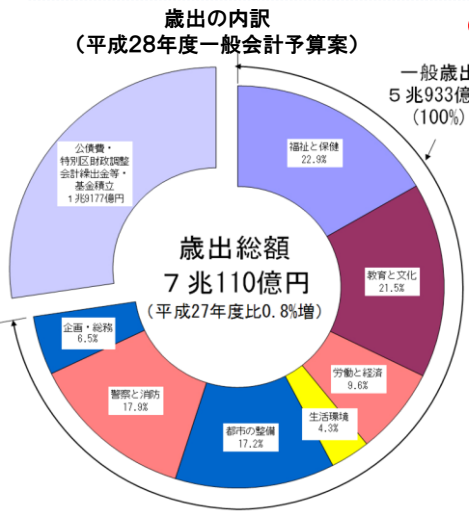
平成27年度の介護報酬改定では、みどり期の対応強化に向け、本人、家族の意向に基づくその人らしさを尊重したケアを実現する観点から、みどり介護加算が拡充されました。

また、都は来年度から、みどりに対応できる個室や家族の宿泊、休憩用の居室など、みどり環境を整備するための施設改修に対し、独自の補助を開始します。

今後とも、本人や家族の願う形で人生の最期を迎えられるよう、介護施設等におけるみどりを支援していきます。

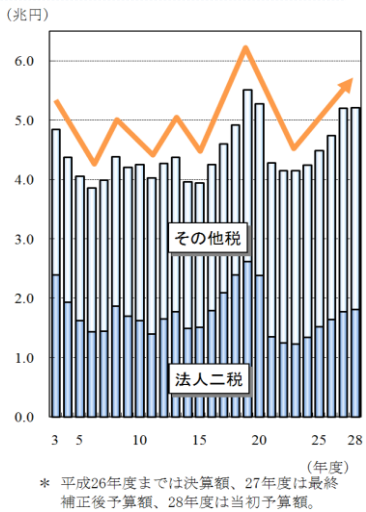
Topics 新年度予算案発表！生活満足度・幸福度で世界一を目指せ！

平成28年度東京都一般会計予算案が発表されました。就任から2年、任期の折り返しとなる外添知事の予算案です。ここでは、都議会民主党が昨年12月に行った要望に沿って、内容の一部をご紹介します。皆さまのご意見・ご要望を是非お寄せ下さい。



●子育て・福祉・雇用に重点配分！～都議会民主党の要望が実現～

一般会計の予算規模は、前年度比0.8%増の7兆110億円。7兆円に達するのは23年ぶりで、都税収入も5年連続で伸びています。目的別内訳では「福祉と保健」が前年度比5.4%増の1兆1668億円。「教育と文化」は3.9%、「労働と経済」も5.5%増えています。都議会民主党は、この予算を通じ、経済的な点だけではなく、都民の生活満足度や幸福度が向上し、豊かさを実感できる東京を実現することを求めています。



●誰もが自分らしく暮らせる東京！

● 要望 ● 困難を抱える子どもへの支援！

その結果・・・社会的養護への取組(78億円)、子供の居場所創設事業(1億円)、生活困窮者などへの支援費(42億円)

何が期待できる？
児童虐待防止策が強化され、厳しい状況に置かれた子どもたちが気軽に立ち寄り、食事の提供や学習支援等を行う居場所ができます。生活困窮世帯の子どもへの学習支援などが、より多くの自治体で実施されます。

● 要望 ● 高齢者福祉の推進！

その結果・・・高齢者の暮らしへの支援(411億円)、認知症対策(40億円)、介護人材の確保・育成・定着(48億円)

何が期待できる？
特別養護老人ホームなどの施設確保、在宅サービスの充実などが図られ、地域包括システムの構築が進みます。若年性認知症の人や家族の支援拠点が多摩地域にできます。高齢者福祉を支える介護職員の宿舎を借り上げ支援など、職場環境の改善や介護人材の確保・定着が図られます。

● 要望 ● 多文化・共生社会の実現！

その結果・・・障害者に対する生活支援(423億円)、障害者安定雇用奨励事業など就労支援(36億円)、多文化共生社会の実現(1億円)

何が期待できる？
2017年度末までに障害者グループホーム2000人分が確保されます。障害者雇用が推進され、正規雇用などを行う企業に奨励金が支給されます。東京で暮らし・働く外国人44万人を支援して、共に東京で参加・活躍できる多文化共生社会の実現に向けて取り組みが進みます。

●子育てを支える都市！

● 要望 ● 子どもを産み育てられる環境整備

その結果・・・子育て環境の充実(478億円)、周産期・小児医療(39億円)、保育人材の確保・定着(203億円)

何が期待できる？
妊娠から出産・子育て期にわたる切れ目のない支援が充実します。待機児童解消に向け2018年4月までに利用児童数を4万人分増やします。新たな保育人材確保として新卒者就職の支援や

保育の魅力を発信する取り組みを行うことで、保育人材の確保や育成、定着が進みます。

● 要望 ● 公立小中高教育の質の向上

その結果・・・子供を伸ばす教育推進(39億円)、社会変化に対応できる力を高める不登校・中途退学対策(47億円)

何が期待できる？
小学校の英語教科化先行実施や中学校での少人数・習熟度別指導の推進などで、320人の教員が増員されます。いじめ対策でスクールカウンセラーの勤務日数が拡充されます。不登校児童・生徒を支援するスクールソーシャルワーカーや教員経験者などからなる支援チームが作られます。

●グローバルな経済都市！

● 要望 ● 中小企業の活躍・発展

その結果・・・東京ビッグサイト拡張含めた販路開拓支援(275億円)、MICE誘致(10億円)、外国企業誘致(5億円)

何が期待できる？
東京ビッグサイトに新たな展示施設が整備拡張され、中小企業の販路開拓支援が充実します。2016年度までにアジア地域の業務統括拠点・研究開発拠点50社以上、それらを含む外国企業が特区内に500社以上が誘致される予定です。

● 要望 ● 働き方改革の推進

その結果・・・非正規雇用対策(54億円)、女性就業支援(15億円)、働き方改革の実現(18億円)

何が期待できる？
正社員転換を進める企業への助成金が拡充するなど、非正規雇用対策が一層推進されます。労働環境の改善や仕事と生活と

の両立を進める企業、いわゆるホワイトカンパニーを支援し増やすことで、長時間労働をなくすなど社会的変革に向けた取り組みが進みます。

●災害に強く、安全なまち！

● 要望 ● 防災対策の推進

その結果・・・地域防災拠点整備(76億円)、帰宅困難者対策推進(19億円)、防災体制整備(19億円)

何が期待できる？
首都直下地震などの際には、500万人以上と想定される帰宅困難者の一時滞在施設・備蓄が増えます。帰宅支援ステーションなど、総合的な帰宅困難者対策が進みます。さらに、広域的緊急支援活動の基盤整備、震災復興体制の基盤整備など防災対策が強化されます。

● 要望 ● 災害に強いまちづくりの推進

その結果・・・防災密集地域再生促進(76億円)、延焼遮断帯形成(75億円)、耐震改修促進(114億円)

何が期待できる？
木造住宅密集地域整備事業、都市防災不燃化促進事業、不燃化特区で、震災時の被害軽減を図ります。また、緊急輸送道路の沿道建築物の耐震診断・補強設計1276棟、耐震改修は565棟への助成、木造住宅の耐震診断・補強設計1000戸、耐震改修850戸に助成され、耐震改修がより一層進みます。

石毛しげるホームページは、こちらから→



東京ひとりひとりが輝くまちへ

プロフィール
石毛しげる



● 昭和28年生まれ。
慶應大学(文)卒業、法政大学(経済)卒業、早稲田大学大学院修士課程修了、早稲田大学大学院博士課程修了(公共経営研究科) (公共経営研究科)
保谷市議会議員(当選5期)西東京市議会議員(当選1期)、西東京市議会議長、東京都議会議員(当選3期)
都議会警察・消防委員会副委員長、経済・港湾委員会委員長、環境・建設委員会委員、都議会民主党総務会長代行、東京都監査委員を歴任。
＜現在＞ ● 東京都議会議員 ● 経済・港湾委員会委員
● (財)東京都交響楽団評議員 ● 都議会2020オリンピック・パラリンピックを成功させる議員連盟副会長 ● 都議会ラグビーワールドカップ2019日本大会成功議員連盟副会長
● 金剛寺住職

朝の駅立ち「都政報告」継続中！

都議会民主党西東京市支部

東京都議会議員 石毛しげる 事務所

〒188-0014 西東京市芝久保町3-6-23
TEL:042-460-0855 FAX:042-460-0856
E-mail shigeru@ishige.info http://www.ishige.info

※ ご意見、ご要望をお寄せください。(E-mail または FAXでお願いいたします。)

